

安全で安心なまちづくりのために

青色防犯回転灯パトロール車を配備



全国的な犯罪増加傾向の中、安全で安心なまちづくりを推進

多様化する価値観や、進展する国際化・情報化など、日々めまぐるしく変化し続ける現代社会。社会の変化にともない、近年、全国的に犯罪件数が増加傾向にあります。

こうした中で市は、防犯や交通安全などを専門に担当する市民安全課を設置し、『安全で安心なまちづくり条例』を施行しました。この条例は、市と市民、事業者（市内で事業を営む人や法人、団体）、土地・建物の所有者などが一体となって、安全で安心なまちづくりを実現しようというものです。地域の犯罪や災害、事故を未然に防ぐため、安全に対する意識を高め、自主的な安全活動の推進を図ります。

行政、そして市民 求められるそれぞれの役割

この『安全で安心なまちづくり条例』では、市の役割として、市民の安全を確保することや市民などが行う自主的な防犯・防災活動への助言や指導を行うこと、防犯・防災についての広報や啓発活動を行うことなどを定めています。

また、市民や事業者、土地・建物の所有者にも、自ら安全のために必要な処置をとることや、地域の防犯活動を推進し事故防止に努めること、市が実施する生

活安全施策へ協力することなどの役割を求めています。

市内全域を巡回する 青色防犯回転灯パトロール車

安全で安心なまちづくりへの第一歩として、市は、青色防犯回転灯を装備したパトロール車を導入しました。昨年11月に道路運送法の保安基準が緩和され、地域防犯に取り組む団体が、青色回転防犯灯をつけた車両でパトロールを行えるようになったことを受けての配備です。

6月7日に市役所で行われた出動式では、富山県三市長が「市は、11万4千市民が、より安全で安心して生活できるまちづくりを目指しています。青色防犯回転灯パトロール車の導入で市民の防犯意識を高め、市民と警察や市など行政の連携による、犯罪や事故のない地域づくりを推進しましょう」とあいさつ。約20万円をかけて塗装や回転灯、無線などを整備したパトロール車を披露しました。

パトロール車を運転するのは、警察主催の青色防犯パトロール講習を受講した市職員。月曜から金曜日まで1日約2時間、市内を巡回して市民の安全確保を図るとともに、防犯や交通安全を呼びかけています。

防犯のためには、みなさんの協力が必要です。市民と行政が力をあわせて、安全で安心なまちをつくりましょう。

問い合わせ

市民安全課 TEL内線243

下條正雄さん（元下館市長）死去

下條正雄元下館市長（83歳・下星谷^{しもほしや}）が6月18日に逝去されました。

故下條さんは、昭和34年に茨城県議会議員に就任。県議会議長や環境保全茨城県民会議の初代議長を務めるなど、県勢発展のために尽力されました。昭和47年に下館市長に就任。『愛と夢と計画』を政治の基調として、市の発展と住民福祉の向上に貢献されました。生前のご偉業をたたえ、ご冥福をお祈り申し上げます。

地域の女性団体が統合

筑西市地域女性団体連絡会（関根静子会長）の設立総会が5月13日、県西生涯学習センターで開かれました。同会は各地域の女性団体が統合し発足。総会では、旧下館連合婦人会会長から就任した関根会長が『それぞれが培った50年の歴史、伝統を大切にしながら会員の心をひとつに輝きを増した会活動をしていきたい』とあいさつしました。

筑西市誕生記念碑が建立

下館シニアライオンズクラブは結成10周年の記念事業として5月21日、筑西市の誕生を記念する市名碑を市役所本庁の駐車場入り口に建立。会員や市関係者など約30人が出席して除幕式を開きました。新井岡^{あきら}会長は『10周年の節目に新市が誕生し、これを記念する立派な市名碑を建立できた。今後も奉仕の精神で活動を続け、市の発展に役立ちたい』と。



人権擁護委員に大臣感謝状

故堀川華子さん（茂田）に、法務大臣感謝状が贈られました。故堀川さんは平成10年から約7年間、人権擁護委員として活躍された功績が認められての表彰です。生前のご偉業をたたえ、ご冥福をお祈り申し上げます。

日本脳炎予防接種を中止

山梨県内で中学生が日本脳炎の予防接種後に重い神経症状（急性散在性脳脊髄炎）に陥るといった事故が起こったことから、国（厚生労働省）は、日本脳炎予防接種について慎重を期するために積極的な接種勧奨を差し控えるべきとの勧告をしました。

これを受けて、これまで小・中学校における集団接種を行ってきた日本脳炎予防接種について、本年度は中止することになりました。来年度以降については、今後の国からの勧告待ちです。

ただし、蚊に刺されやすい環境にある地域に旅行するなど、日本脳炎に感染する恐れが高いことが予想され、保護者等が『日本脳炎予防接種』についての内容を十分に理解したうえで接種を希望される場合には、協力医療機関により個別に接種することができます。

特別に日本脳炎予防接種を希望される場合

1. 学校に、接種の希望を申し出て『予診票』の交付を受けてください。
2. 事前に下記の接種協力医療機関に予約をしてください。
3. 予約日に『同意書』と『予診票』を持参し、接種を受けてください。16歳未満の人に対する個別接種については、保護者の同伴が必要です。
4. 接種終了後は『予診票』を学校に提出してください。
* 詳しくは、市保健福祉部保健推進課（TEL 24-2267）へ問い合わせください。

接種協力医療機関名

【下館地区】

遠藤産婦人科医院(20-1000)・大田医院(22-3914)・大圃クリニック(21-0123)・おにさわ小児科(28-8611)・加納内科胃腸科(24-7365)・小松崎産婦人科医院(24-6327)・ごとうクリニック(23-3215)・さとうクリニック(20-0310)・産婦人科篠崎医院(25-0505)・山岳荘小松崎病院(24-2331)・すわクリニック(22-2069)・田中医院(22-2606)・玉戸レディースクリニック(28-1500)・つくばクリニック(28-1001)・玉野医院(28-0801)・野中医院(25-0155)・平間産婦人科医院(22-3741)・ひろせ内科クリニック(25-5655)・宮田病院(22-2440)・筑西市民病院(28-2261)

【関城地区】

飯田医院(37-6745)・大圃病院(37-3101)・河上医院(37-2460)・濱名医院(37-6920)・山口医院(37-3777)

【明野地区】

明野中央医院(52-0026)・かくらいクリニック(52-6711)・原田医院 歯科内科(52-0057)・秀村医院(52-0077)・横瀬医院(52-0027)

【協和地区】

池田整形外科(57-2555)・落合医院(57-3011)・さんごうクリニック(57-5500)・仙波医院(57-2013)・にいはり診療所(57-7700)